

事務事業マネジメントシート(令和 4年度実績と令和 5年度計画)

令和 5年12月28日更新

事務事業名		道路占用・施行承認事務				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	5	都市基盤の健康			所属部	都市建設部	課長名	原田 和彦
	施策	24	計画的な道路の整備			所属課	建設課	担当者名	小山 可愛
	施策の柱	67	道路環境の整備			所属班	維持管理班	(内線)	5254
予算科目		会計一般	款 8	項 1	目 1	事業連番 10111	根拠法令	道路法	
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 4年度で終了 <input type="checkbox"/> 4年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	申請があったものを道路法に基づき審査し許可書(承認書)を交付する。
【業務の流れ】	相談、書類受付、許可書又は承認書の起案(交通規制を行う場合は警察へ協議後)、許可書の引渡し又は発送。
【主な予算費目】	道路占用料
【意見や要望】	特にない

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
①手段(主な活動) 4年度実績(4年度に行った主な活動)(DO)	①手段(主な活動) 5年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
占用料の賦課、徴収を行った。許可書(承認書)を交付した。	占用料の賦課、徴収事務許可書(承認書)交付	
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ア 許可書交付数	件	
→イ 承認書交付数	件	
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	②対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
申請者	→ア 申請件数	件
	→イ	
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
申請者が工事等を行えるようになる	→ア 許可・承認にもとづき施行を行った率	%
	→イ	
*③成果指標設定の理由と5年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
市道、里道、水路に個人で埋設物を埋設される際、適正な指導が求められる。		全体計画
		～ 年度
		0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	2年度実績(決算)	3年度実績(決算)	4年度目標(当初予算)	4年度実績(決算)	5年度目標(当初予算)	6年度予定	7年度見込	8年度見込
① 活動指標	ア 件	463	397	330	465	330	330	330	330	
	イ 件	75	56	45	105	45	45	45	45	
② 対象指標	ア 件	463	397	330	465	330	330	330	330	
	イ									
③ 成果指標	ア %	100	100	100	100	100	100	100	100	
	イ									
投資	国庫支出金	千円								
	都道府県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	繰入金	千円								
	一般財源	千円								
入費	(A) 事業費計	千円	0	0	0	0	0	0	0	
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	
	(A)のうち時間外、特別	千円	0	0	0	0	0	0	0	
人員費	正規職員従事人数	人	5	6	5	7	5	5	5	
	延べ業務時間	時間	1,210	1,910	1,430	1,660	1,430	1,430	1,430	
	(B) 人件費計	千円	4,771	7,468	5,697	6,317	5,697	5,697	5,697	
トータルコスト(A)+(B)		千円	4,771	7,468	5,697	6,317	5,697	5,697	5,697	

事務事業名	道路占用・施行承認事務	所属部	都市建設部	所属課	建設課
-------	-------------	-----	-------	-----	-----

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は4年度の事後評価、ただし複数年度事業は4年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 4年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	② 5年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 道路管理者として行う必要がある。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 法、市の基準に基づき許可・承認する	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業はない	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 現在行っている事務は、必要最小限の事務である	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 現在行っている事務は、必要最小限の事務である	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 市の条例に基づく負担。法に基づく許可・承認。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 法に基づき許可承認をしており、道路管理者として行うことは適正である	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

何の問題もなくスムーズに処理できた。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持		○																		
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																					